

箕輪工業高校学園ニュース

(うえのばやしだより)



平成17年7月26日

学校長挨拶

今年の梅雨明けは「海の日」と重なり、海辺川辺の賑わいと共に梅雨明け宣言が報じられました。当日は、たまたま諏訪湖の湖畔を散策する機会を得ましたが、「アオコ」の発生が殊の外目立つような気がしました。ここ数年水質の状態は改善されていると思いますが、清流に慣れ親しんでいる我々には、まだまだ満足できる状況ではないと思います。県民の憩いの場である「諏訪湖」の浄化は県民一人ひとりの願ではないかと痛感させられました。

さて、高校では、高校改革の話題で持ちきりです。暑い夏以上に新聞紙上で話題沸騰している状況下です。本校は校名が挙がって以来、「箕工の未来を育てる会」「同窓会」「PTA会員」の皆さんが中心になって全日制存続に向けて署名活動をされています。また、多くの皆さんのご賛同を得ていることに対し感謝申し上げます。

こうした状況ではありますが、職員、生徒を中心にして、今までの取り組みの良い点についてはより伸長し、改善すべきは速やかに対処をし、地域の皆さんに愛される学校づくりに邁進して参りたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



野球部 夏の大会終わる 応援ありがとうございました

第87回全国高等学校野球選手権長野大会が去る7月9日より行われ、本校は県営長野野球場において、14日第一試合、長野日大高校と対戦しました。相手は春の大会で北信ベスト4に入り、県大会に出場しております。本校は、3年3人、2年3人、1年5人の計11人と少人数ではありますが、就任2年目の鈴木達也監督のもと、厳しい練習を重ねてきました。

試合は初回に投手のミスや四球から先制点を奪われ、日大ペースで進みました。しかし、多くのピンチを、村上投手をはじめとする全員で守り、大量点を許しません。攻撃では、日大投手に揺さぶりをかけるため、盗塁やエンドランなどを試みますが、変化球にうまくタイミングが合わず、箕工に流れを引き戻すことができません。その間に小刻みに得点を奪われ、結局0-7のスコアで今年の夏を終えました。昨年7月の新チーム発足時からチームの土台を支え続けてきた3年生には最後の夏になってしまいましたが、彼らが見せてくれた戦う姿勢は箕工野球部の新たな伝統として、新チームに引き継がれていくと思います。

現在は、1・2年生8人で新チームでの活動がスタートしています。一人一人のレベルアップと8人全員の総合力の向上を目指し、白球を追っています。多くのハードルを越え、その先にある「甲子園」を目指し、がんばっていききたいと思います。最後に、大会に際しまして野球部に多くのご支援・ご声援をいただきました。本当にありがとうございました。

PTAクラスの日

6月1日(水)から8月31日(水)の間で行われるPTAクラスの日が行われています。これはPTA活動計画の中の一つで、実施期間中に各クラス毎テーマを決め、クラスの懇親を深めます。

実施したクラスでは、親子でボーリング大会やソフトバレーボール大会を行いその後、焼き肉を食べながら楽しい親子のふれあいの時間を過ごしたり、懇親会では、生徒の様子や学校の様子等を担任の先生を囲んで懇親を深めました。



ぜひ一度、箕工へお越し下さい

今、箕輪工業高校は高校改革プラン推進委員会の会議で、「多部制・単位制」の候補として名前が発表されております。しかし、この検討は実現されるのかどうか分かりません。箕輪工業高校では、来年度も今年度と同様に生徒募集しますのでよろしくお願ひします。そこで、箕輪工業高校の良いところを紹介してみたいと思います。

生徒の皆さんに「わかる授業」を実施しています。これは、生徒の立場になって分かるまで、学力の充実を目指しています。

クラスは少人数で授業を受けられるようにしています。個別指導的な雰囲気があるので質問もどんどん出来ます。

進路にあわせた選択科目・興味関心に合わせた多様な実技科目があります。自分の進路を決めたら、実現のために更に学習を深められます。

素直な生徒たちが多く、学年を越えてみんな仲良く学園生活を送っています。

箕輪工業高校の先生達は、生徒のために力の限り取組をしています。

というわけで、

「百聞は一見にしかず」是非、体験学習・体験入学、公開授業に参加してみてください。きっと、納得していただけると思います。

就職戦線本番!

7月1日から高校生の求人受付が開始され、本校へも多くの企業の担当の方が求人票をもって見えています。本年の伊那職業安定所管内の求人はほぼ昨年並み、7月20日現在で約60社を数えます。

就職希望の生徒たちは毎日HRに配布される求人票のコピーを調べ、担任と相談し、進路指導室でより詳細な情報を入手するなど、活発に活動しています。今後は、8月初旬の企業見学、9月1日からの応募、16日からの採用試験に向けて、生徒たちにとっては気の休まらない日々が続きます。同時に、生徒たちはHRや総合学習の時間、あるいは放課後を利用して、企業訪問や面接のマナー、履歴書の書き方なども学習し、本番に備えていかなければなりません。初めての経験で戸惑う生徒もいますが、自らの一生を左右するかもしれない進路選択にみな真剣に取り組んでいます。

プール掃除ボランティア活動を行いました

7月6日(水)、恒例の箕輪町営プールの掃除を行いました。11日(月)からプールをお借りし、水泳(体育)の授業がスタートしています。



おしらせ

—三次元CAD「SolidWorks2004」公開講座—

総合工学科では、今年度最新の3次元CADを導入しました。総合工学科では、この施設を利用して学校外部の方々にも3次元CADを体験して頂き、学校の施設及び教育内容を御理解していただく目的で、今回公開講座を開催することになりました。詳細は本校ホームページをご覧ください。是非、ご参加くだされば幸いです。



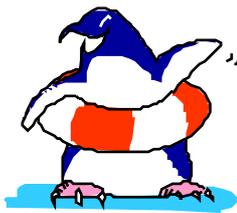
—学校説明会—

本校では、8月4日(木)の9時30分から中学3年生とその保護者を対象に学校説明会をおこないます。会場は会議室です。多くの中学生・保護者のご参加をお待ちしています。

手話ダンスに挑戦 3年総合 福祉ボランティア

総合福祉、ボランティアの授業では、深沢和美先生をお招きして手話についての学習をさせていただきました。初めての生徒も多く、まずは「私の名前は・・・と申します。」といった自己紹介から教えていただきました。指文字の由来などおぼろげながら、楽しそうにお話くださる先生のお人柄にすっかり引き込まれ、多少なりとも世界が広がったような気がしました。

ついていくのにやっとで、とてもうまくはできませんでしたが、ナンバー1にならなくてもいい、もともと特別なオンリー1の通りこの体験をこれからのボランティア活動に生かしていきたいと思います。



性教育講話

7月7日一年性教育講話をAAA(Act Against AIDS)運営事務局代表の藤森英樹氏により「命・心の大切さと性」と題し、実施しました。(AAAとはエイズ啓発活動を目的にしたNPO団体で事務局は東京です。)

講話の内容として、エイズについての正しい知識とその予防について、感染者・患者への偏見差別をなくすこと、自分の命を大切に思うということは相手(まわりの人)の心も体もいたわり大切にすること。を話され、後半はAAAの活動として実施されたルーマニアの小児エイズ孤児院へ歌手の福山雅治さんも同行した視察・慰問の様子を紹介したビデオを見せていただきました。このビデオの内容が生徒たちにはインパクトが強く、生徒の理解と関心を深めることができました。

「エイズはとても怖いものだということが改めてわかったような気がします。相手のことをしっかり考えて生きていきたいと思いました。勇気をだして保健センターに行ったりするのもとても大切なことだと思いました。」

「今日の講話を聞いて、自分にも関係のあることなんだなあと思った。病気にかからないために、できる限りの事はすべきだと思う。」(生徒感想文より)



箕輪工業高校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/minoko/>

箕輪工業高校の情報が満載。是非、一度ご覧下さい。

学校に対するご意見・ご要望は minoko@nagano-c.ed.jp または 0265-79-2140(代表) 教頭松崎までお願いいたします。

